

記者発表資料

下釜ダム：泡の発生と分析結果について

- 8月9日「下釜ダム湖で泡が発生している」との住民の方からの情報を受けて確認したところ、ダム堤から約5.5km上流付近で泡を確認しました。
- 泡の成分を分析した結果、通常のダム湖の水質よりも窒素が多く含まれていることを確認しました。
- 窒素が多い原因は、家畜の糞尿や肥料・農薬等の河川への流れ込みが考えられます。
- 泡はその後の雨天時に消えましたが、当事務所では今後も貯水池の監視を引き続き行って参ります。

《問い合わせ先》

国土交通省 九州地方整備局 筑後川ダム統合管理事務所

管理課長 平井 新太郎

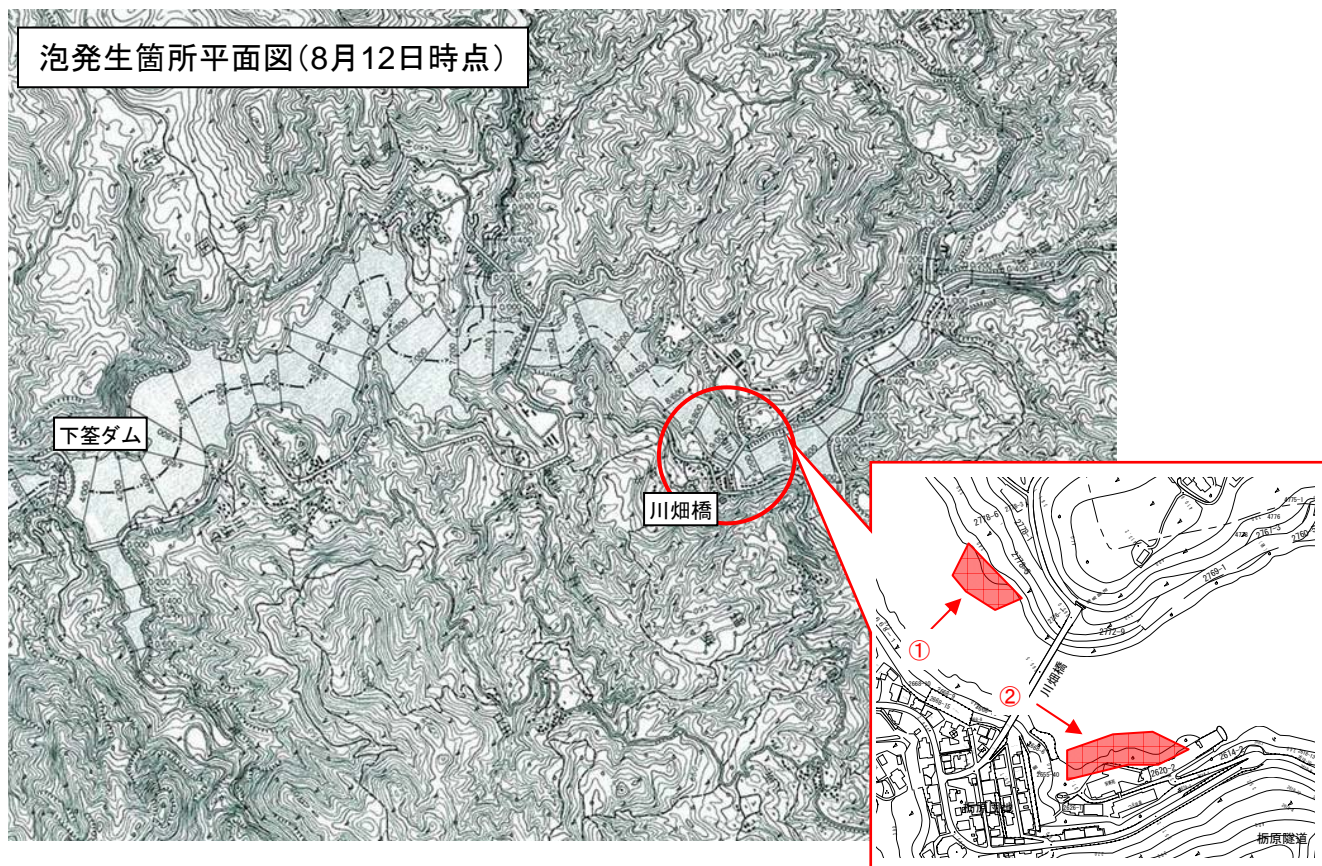
電話：0942-39-6651(代表)

FAX：0942-35-8242(代表)

※筑後川ダム統合管理事務所ホームページ（カラーの記者発表資料はこちらから）

<http://www.qsr.mlit.go.jp/toukan/>

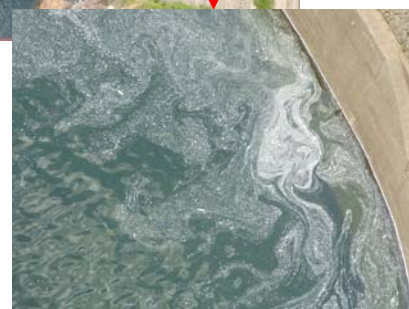
参考資料① : 泡発生箇所平面図、写真



①川畑橋下流左岸から湖面を望む(9日撮影)



②川畑橋から上流を望む(12日撮影)



参考資料② : 水質調査結果

水質調査位置図



下釜ダム			
		H22調査値	今回調査値
調査地点		S-1(全層)	泡発生箇所
調査月日		年平均	8月9日
水温	°C	15.0	26.6
濁度	度	3.2	4.3
DO	mg/L	7.1	8.2
総窒素	mg/L	0.4	12
アンモニウム態窒素	mg/L	0.029	6.5
亜硝酸態窒素	mg/L	0.007	0.021
硝酸態窒素	mg/L	0.24	<0.01
総リン	mg/L	0.02	0.36
オルトリン酸態リン	mg/L	0.007	0.053
TOC	mg/L	—	65